

教育研究寄付金

公益社団法人電気化学会主催「加藤与五郎先生記念講演会」の後援

年度	講演者	所属	講演テーマ	支給金額 (万円)
昭和56年	向坊 隆 氏	元東京大学総長	電気化学とエネルギー問題の将来	30
昭和57年	山崎 貞一 氏	TDK株式会社 相談役	発明と企業	30
昭和58年	清山 哲郎 氏	九州大学教授	電気化学・工業物理化学と私	30
昭和59年	外島 忍 氏	東北大学教授	理論電気化学の歩みを振り返って	30
昭和60年	吉澤 四郎 氏	京都大学名誉教授	電気化学のいまとこれから	30
昭和61年	久松 敬弘 氏	日新製鋼株式会社 顧問	表面処理鋼板の趨勢	30
昭和62年	石川 敏功 氏	日本カーボン株式会社社長	有機素材から無機素材へ	30
昭和63年	渡辺 信淳 氏	前 京都大学名誉教授	挑戦と偶然と楽しさ	30
平成元年	塩川 二郎 氏	近畿大学教授	希土類元素に魅せられて40年	30
平成2年	笛木 和雄 氏	東京理科大学理工学部	化学の立場からみた高温超伝導体	30
平成3年	本多 健一 氏	東京工芸大学	光と電気の関わり—光電気化学	30
平成4年	松田 博明 氏	東京工業大学名誉教授	電気化学測定について	30
平成5年	鈴木 周一 氏	埼玉工業大学学長	生物電気化学の展開	30
平成6年	春山 志郎 氏	東京工業高等専門学校校長	電極の化学の歩み	30
平成7年	増子 昇 氏	東京大学教授	メートル電気化学とマイクロ電気化学	30
平成8年	竹原 善一郎 氏	京都大学名誉教授	電池の研究とともに40年	30
平成9年	安福 眞民 氏	富士通株式会社	Country Gentleman, Paranoid and Spontaneity	30
平成10年	大瀧 仁志 氏	立命館大学教授	電解質溶液化学の進歩—特にイオンの溶媒和について	30
平成11年	高村 勉 氏	立教大学教授	新世紀の電池と炭素材料	30

平成12年	長 哲郎 氏	東北大学教授	化学修飾電極の歩みとともに	30
平成13年	富浦 梓 氏	新日本製鐵株式会社	産学連携について	30
平成14年	山内 繁 氏	国立身体障がい者リハビリテーションセンター研究所 所長	少子高齢化時代に期待される電気化学	30
平成15年	西 美緒 氏	ソニー株式会社	ユビキタス時代を支える電池	30
平成16年	山添 昇 氏	九州大学教授	化学センサの発展に向けて	30
平成17年	藤嶋 昭 氏	東京大学名誉教授	人傑地靈—研究は雰囲気的大事	30
平成18年	伊藤 靖彦 氏	同志社大学教授	熔融塩技術の潮流とロマン	30
平成19年	相澤 益男 氏	東京工業大学前学長	日本の科学技術政策を展望する	30
平成20年	小久見 善八 氏	京都大学教授	先進のOld Tech:蓄電池	30
平成21年	佐藤 祐一 氏	神奈川大学教授	腐食防食技術と電池技術	30
平成22年	逢坂 哲彌 氏	早稲田大学理工学術院教授	学から産への技術発信	30
平成23年	渡辺 政廣 氏	山梨大学燃料電池ナノ材料 研究センター教授	燃料電池の本格普及に向けて—材料研究—開発からのアプローチ	30
平成24年	淵上 寿雄 氏	東京工業大学名誉教授	古くて新しい有機電気化学—電解合成を 基軸として	30
平成25年	武田 保雄 氏	三重大学教授	新物質を求めて—電気化学とセラミック科学との間で	30
平成26年	太田 健一郎 氏	横浜国立大学大学院教授	水素エネルギー時代に向けた電気化学	30
平成27年	松永 是 氏	東京農工大学学長	細胞の電気化学	30
平成28年	谷口 功 氏	国立高等専門学校機構理事長	生体分子の生物電気化学的解析のための 機能電極の開発とその応用	30
平成29年	益田 秀樹 氏	首都大学東京教授	アノード酸化でつくる規則ナノ構造	30
平成30年	菅野 了次 氏	東京工業大学教授	全固体電池の開発とその周辺のサイエンス	30
令和2年	西原 寛 氏	東京大学大学院教授	電気化学と錯体化学の交差点で育んだ配位 プログラミングの化学	30
令和3年	辰巳砂 昌弘 氏	大阪府立大学学長	ガラス・イオニクス・そして全固体電池	30